

令和3年度  
自己評価・学校関係者評価(島田南幼稚園)

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける(人間形成の基礎)
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価	自己総合評価	学校関係者評価	
			評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	4	B	A	教育目標を教職員全員で意識し共有する姿勢が見られ、挨拶を中心とした具体的な指示への対応は高く評価します。更に、抽象的な教育目標の表現部分を深く理解し、具体的教育効果が期待できるような指導を期待します。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	3			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	3			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	4			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	コロナ禍での制約された環境での教育活動が長期に渡り、積極的な活動計画に苦慮する教職員の姿が見られます。こうした環境下でも知恵を出し合い必要な教育活動を行うよう計画することを求めます。新しい指導計画を構築する良い機会だと考えます。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	2			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	2			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	2	B	B	コロナ禍の規制された活動の中、多くの体験教育が残念ながら少なくなっています。こうした状況でも園児一人一人の状況を注意深く観察し、成長への効果を考える姿勢と実際の活動を評価します。コロナ禍でも楽しく学べる活動に期待します。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	2			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	A	A	安全管理に対する意識の高さは、継続しています。特に、今日的課題であるコロナウイルス感染防止対策については、極めて高い教職員の意識が、安全な施設を維持しています。この取組みにより、インフルエンザの感染状況は殆ど報告がありません。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	4			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	3			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	特に低年齢のクラスでの、園児とのスキンシップがコロナ禍の影響で少なくならざるを得ず、苦労の様子がうかがえます。このような環境でも、工夫した活動に努め、楽しい毎日の活動を維持しています。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	3			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	B	本年度も引き続き研修は、コロナウイルス感染防止の観点から外部研修の制限があり、積極的な参加が出来ず、リモートによることが殆どです。この為、積極的な評価はありません。こうした環境が続くことで、自己研鑽意欲の低下が心配されます。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	3			
今後研究したい課題やテーマがある。	2			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	C	B	外部との直接的な接触機会が少なくなっていることから、十分な評価がされていません。その反面、幼稚園内部での保護者との関わりを大切にし、責任ある丁寧な対応を行っているように見えます。今後は、更に保護者ニーズを適切に捉え、満足されるような関わり方を期待します。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	2			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	令和4年度より、子ども子育て支援法に基づく「施設型幼稚園」への移行に伴い、この際、一層のコスト意識を考えるよう求めます。組織の一員としての意識向上と理想の教師を目指すよう期待します。
島田南学園(組織)の一員として協働することができた。	3			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

令和4年3月26日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月16日評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会  
委員長 町 淳子

